

P-D-4

当院における関節リウマチ(RA)患者の 健康食品／サプリメント利用の実態

A Survey of Voluntary Health Food/Supplement Ingestion by Patients
with Rheumatoid Arthritis (RA) in a Special Hospital

高瀬恵美子¹⁾，生山祥一郎²⁾，西村 純二²⁾

九州大学病院別府先進医療センター 1) 管理栄養士，2) 免疫・血液・代謝内科

We conducted a survey about voluntary health food/supplement ingestion by RA patients in our hospital. The 49.5% patients (53/107, male 29, female 78) who joined the survey took a variety of such materials including cartilage components, plant elements, vitamins etc. Only 1/5 of these patients consulted their physicians about the ingestion before use. 57.8% of the users expected a cure or amelioration of the disease, and 43.5% of all users felt a certain satisfaction. It is necessary and urgent to collect more evidences about diversities of these materials, not only from the point of view of therapeutic merits but also potential demerits such as interfering the effects of ordinary anti-rheumatic drugs.

【目的】

RA は自己免疫機序による関節滑膜を主座とする炎症により関節破壊をきたす慢性炎症性疾患である。基本的には抗リウマチ薬，最近では生物学的製剤などによる治療が行なわれるが，関節の腫脹，疼痛など自覚症状が長期間持続するため，種々の補完代替医療に依存する患者も多い。私どもは RA 治療を専門とする大学病院に受診している患者において，健康食品／サプリメント利用の実態を把握する目的でアンケートを行なった。

【方法と結果】

平成 18 年 7 月に当院で治療を受けた RA 患者のうち，アンケートへの協力を得られた患者 107 名（男 29 名，女 78 名）について解析した。何らかの健康食品／サプリメントを現在利用しているか，利用経験のある患者は 53 名(49.5%)で，男性 34.5%(10/29)に対し女性 55.1%(43/78)と，女性での割合が高かった。利用した健康食品／サプリメントは軟骨成分 39.6%，植物成分 39.6%，ビタミン類 32.1%，ミネラル成分 24.5%などが多く，50%の利用者は複数のものを利用していた。購入の契機は 56.6%の患者が知人／家族の紹介，28.3%が新聞／雑誌等の広告を挙げた。利用に際し担当医に相談した人は 20.5% (9/44，無回答 9)であった。期待した効果は，RA の治癒／症状軽減が 57.8%で最も多く，次に健康増進が 33.3%を占めた（複数回答あり，無回答 8）。治癒／症状軽減を期待した人の 50%(13/26)は軟骨成分を摂取していた。80%の患者が購入に際してその健康食品／サプリメントを「十分知っていた」「ある程度知っていた」と答えた（35/44，無回答 9）。「副作用があった」と答えた患者が 8.9%(4/45，無回答 8)いた。一ヶ月の費用は 1 万円以下が 53.3%，1 ～ 3 万円が 35.6%，3 万円以上は 11.1%であった（無回答 8）。「利用して良かった」「どちらかという良かった」と答えた患者は 43.5%，「どちらかという良くなかった」「良くなかった」「わからない」と答えた患者は 56.5%を占めた(無回答 7)。RA 罹病期間の長い患者で利用者が多いという傾向はみられなかった。

【結論】

専門医に受診している RA 患者の約半数が何らかの健康食品/サプリメントを利用していた。これらの患者の 1/5 しか事前にその利用を医師に相談していなかった。健康食品／サプリメントは RA 治療薬など他の薬剤と相互作用を起こす可能性もあるので，RA に対する効果はもとより，薬物相互作用の点からも十分なエビデンスの集積が必要である。